

社会福祉法人栄和会 広報紙 第47号

ひだまり

寄贈品

ご利用者ご家族をはじめ、多くの方より寄贈品を頂戴しました。全ての物を紹介できず大変恐縮ですが、寄贈いただいた皆様へ感謝申し上げます。日々の支援の中で活用させていただきたいと思えます。寄贈いただいたものの一部を紹介させていただきます。

特別養護老人ホーム厚別栄和荘では、車椅子4台を寄贈いただきました。これまで使用していた物は劣化が見られていたので、綺麗な物を使用できるように、ご利用者も喜ばれております。大切に使用させていただきます。

特別養護老人ホームひらおか梅花実では、新型コロナウイルス感染症拡大予防策として、来設された方に対して、一般的な体温計で対応しておりましたが、接触せずに測定ができる体温測定器を寄贈いただきました。おかげ様で安心して体温測定が行えております。

この他にも消毒液や手作りマスク、紙マスク等も寄贈いただきました。皆様の温かいお気持ちに感謝申し上げます。



新年ご挨拶



社会福祉法人 栄和会
介護老人保健施設あつべつ
施設長 楠岡 修身

令和3年の新春誠におめでとございます。当施設のご利用者、ご家族の皆様、そしてスタッフの皆様、格別の御支援をいただき謹んでお礼申し上げます。

さて、本年も新型コロナウイルスの感染から皆様を守り、絶対にこのウイルスを当施設に入れないとの覚悟で臨んでまいります。皆様何卒御協力の程、お願い申し上げます。

人類の歴史は感染症との闘いでありました。西暦5〜8世紀には奈良を中心に天然痘が流行し、13世紀に鎌倉幕府の内乱、蒙古襲来に呼応するかの様に天然痘、麻疹の流行が人々を苦しめました。14世紀にはモンゴル帝国の侵略と百年戦争によって中央アジアから欧州にペストが大流行しました。19世紀から20世紀にかけて第一次、第二次世界大戦があり、スペイン風邪、コレラの大流行がありました。21世紀には環境破壊、地球温暖化、自国第一主義の台頭がサージ、マーズ、新型コロナウイルスの大流行をもたらしています。自国第一主義のエゴイズムを克服する為には、どういった条件が必要でしょうか。それは、生命の尊厳に人類が目覚め、他を利用する精神、共助の精神から世界平和を勝ち取るしか方法はないと思えます。

アウシユピッツ強制収容所から奇蹟的に生還したユダヤ人の精神科医ヴィクトール・フランクルは著書「闇と霧」の中で自ら過酷体験でこう述べています。「人生にはすばらしい意味がある。絶望にも希望がある。人生はうまくなっているのだ。ただその事に気づきさえすれば良いのだ。徹底して究極の絶望を経験した者は徹底した希望に到達するのである」「どんな状態になっても人間の尊厳を失わなかった者が生還している」と述べています。

私達もこの閉塞した状況を希望こそ力であると確信し乗り越えて参ります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。ひだまり47号はいかがでしたでしょうか。新型コロナウイルスが猛威を振るうようになり、暗いニュースばかりでしたが、皆様のご理解とご協力を賜りながら、栄和会では様々な活動を行ってまいりました。ひだまり47号ではコロナ禍での生活状況についてご案内してまいりました。

今後も皆様の安心安全に最大限留意し、取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。本年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

栄和会 ホームページのご案内

令和2年8月より、栄和会のホームページがリニューアルしております。これまで同様に法人の概要や各施設からのお知らせ、求人情報等も閲覧いただけます。リニューアルしたホームページでは各施設をドローンにて空撮した映像から始まり、その他各施設での行事や活動等を随時更新しており、施設での生活状況をより身近に感じることができるようになっております。



下記のQRコードを読み込む事でアクセスできますし、インターネットで「栄和会 ホームページ」と検索いただいてもアクセスができますので、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。



こちらのQRコードまたは、栄和会 ホームページ (https://www.eiwakai.or.jp) から

栄和会のご案内



〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
☎011-896-5010

やすらぎ (定員50名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●ケアハウス/特定施設入居者生活介護
●デイサービスセンター
☎011-896-5014

厚別栄和荘 (定員104名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●特別養護老人ホーム/短期入所生活介護
☎011-896-2565
●デイサービスセンター
☎011-896-5014
●居宅介護支援事業所
☎011-896-2538

ひらおか梅花実 (定員80名)

〒004-0873 札幌市清田区平岡3条3丁目1-8
●特別養護老人ホーム/短期入所生活介護
☎011-884-8886
●デイサービスセンター
☎011-884-8882
●居宅介護支援事業所
☎011-884-8805

あつべつ (定員100名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●介護老人保健施設/短期入所療養介護
●通所リハビリテーション ●訪問リハビリテーション
☎011-896-5020

あつべつ南5丁目 (定員80名)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南5丁目1-10
●特別養護老人ホーム/空床型短期入所生活介護
☎011-375-0526
●デイサービスセンター
☎011-375-0375
●居宅介護支援事業所
☎011-375-6825

社会福祉法人 栄和会 基本理念

私たち栄和会職員は利用者、家族、地域社会との和を大切にすることを信条とし、

- 1 その人らしい尊厳ある暮らしの実現を目指します
- 2 自立した生活ができるよう支援します
- 3 専門的な技術と知識を持ち、質の高いサービスを提供します
- 4 安心、安全、快適な施設・設備の充実に努めます

1 新年ご挨拶

2-3 各施設のイベント開催について
・やすらぎ ・あつべつ ・厚別栄和荘
・ひらおか梅花実 ・あつべつ南5丁目

4 寄贈品、栄和会ホームページのご案内、編集後記

https://www.eiwakai.or.jp



特別養護老人ホーム 厚別栄和荘

コロナ禍となり、日本中で新しい生活様式が定着しておりますが、厚別栄和荘でも「新しい生活」で皆様生活されております。ごく一部しかご紹介できませんが、厚別栄和荘での新しい生活をご紹介します。

例年は「栄和会祭」で、ご利用者・ご家族・地域の方等多くの方に参加いただき賑わいを見せるのですが、コロナ禍という事もあり、今年は「栄和荘祭」という形で厚別栄和荘独自のお祭りを開催し、ご利用者のみにお楽しみいただく形で企画をいたしました。小規模ではありますが、出店を開き、ご利用者自ら食券を出し、助六寿司やおはぎソフトクリーム等お好みの物を購入いただきました。非日常を感じられ、ご利用者の多くの笑顔を見られました。今後も感染予防対策を講じていきながら、少しでもご利用者に楽しさを提供していければと思います。



特別養護老人ホーム 厚別栄和荘

特別養護老人ホーム ひらおか梅花実

ケアハウス やすらぎ

ケアハウスやすらぎでは、法人全体での栄和会祭りが中止となつてしまつたため、9月9日にケアハウスやすらぎご利用者を対象に夏祭りを開催いたしました。例年に比べると小規模での開催でしたが、催し物が予想以上に好評でした。ゲームは輪投げに射的、抽選会を行いました。ちよつとした屋台風メニユーとしてチキンナゲットや枝豆、たこ焼き、かき氷をご用意し、お好きなものを召し上がっていただきました。9月に入り、かき氷を食べて寒くないかな…と心配しておりましたが天候も良く、かき氷日和で皆様に喜んでいただけました。

コロナ禍ではありますが、今後も感染予防を徹底し、皆様に楽しんでいただける行事を考えていきたいと思っております。ご家族に参加していただける行事の実施が困難であり、引き続き面会制限もございませぬが皆様の協力とご理解に感謝申し上げます。



9月は敬老月間ということで、ささやかではあります。ユニット毎に色々な形でお祝いを行いました。

9月21日の昼食には、赤飯や茶わん蒸しなどいつもより少しだけ豪華なメニューで、おやつに、パークーヘンやどら焼きなどのお菓子を一人ずつにご用意いたしました。

9月22日は、お彼岸の中日とお寿司を楽しんでいただきました。一度には食べきれない」との反応でしたので、日持ちするお菓子は楽しみにながらゆつくりお召し上がりいただきました。

9月22日は、お彼岸の中日とお寿司を楽しんでいただきました。出前のお寿司を楽しんでいただくユニットもありました。

実りの秋は美味しいものがたくさんありますので、新型コロナウイルスに負けないよう、栄養と元気を蓄えていただいています。

感染対策のため、ボランティアさんの訪問は中止となり、外出行事も自粛しています。

ご利用者にとつては変化の少ない日常生活になつていきます。これからも、季節の行事や、趣向を変えた食事、日々の暮らしに少しでも変化を持たせることができよう努力したいと考えています。

特別養護老人ホーム あつべつ南5丁目

介護老人保健施設 あつべつ

新型コロナウイルス感染症対策を重点に、緊張感を持って業務に励んでいる日々ですが、ウィズコロナの考えのもと「あつべつ」では、新しい生活様式に合わせ活動を行っています。

栄和会祭りが見送りとなつたため、フロアごとにお祭りを開催し、昔懐かしいゲームや甘味を楽しんでいただきました。職員共に大盛り上がりで、たくさんの笑顔とふれあいが、「あつべつ」の活力につながりました。

また、地域活動として例年講座を行っている「健康サロンあらく」で、高齢者疑似体験と施設における感染症対策について、お話をさせていただきました。疑似体験では加齢による身体の動きを体感することで、高齢者にやさしい心や介助の手法、バリアフリー環境の大切さを、感染症対策では、予防法や発症時の対応などを知っていただく機会になりました。

今後も、「あつべつ」は地域包括ケアの拠点として、暮らしの支援と地域に根ざした活動を継続していきたいと考えております。



8月30日に予定していましたが、つ南5丁目祭りですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となりました。

代替行事として各ユニットのご利用者へ「やりたい事」「食べたい物」等のアンケートをとり、ユニット毎で9月に様々な行事を企画しました。

つばめ・ひばりユニットはプロジェクトを使用し、今年の出来事を写真で振り返り、うぐいす・おしどりユニットでは魚釣りゲームや輪投げ大会を行いました。

きつつき・おとりユニットは抽選会、ふくろうユニットは「大きなかぶ」の寸劇やくじ引き、はやぶさユニットはホットプレートでジンギスカンや焼きそばを召し上がっていただきました。どの行事もご利用者の笑顔が多く見られ、楽しんでいただけましたかと思っております。

今後もご家族のご理解やご協力をいただき、感染防止対策を徹底しながら、ご利用者の安心と笑顔が見られる生活が送れる様に職員一同努めて参りたいと思っております。



特別養護老人ホーム あつべつ南5丁目

社会福祉法人 栄和会

各施設のイベント開催について



ケアハウス やすらぎ

ケアハウスやすらぎでは、法人全体での栄和会祭りが中止となつてしまつたため、9月9日にケアハウスやすらぎご利用者を対象に夏祭りを開催いたしました。例年に比べると小規模での開催でしたが、催し物が予想以上に好評でした。ゲームは輪投げに射的、抽選会を行いました。ちよつとした屋台風メニユーとしてチキンナゲットや枝豆、たこ焼き、かき氷をご用意し、お好きなものを召し上がっていただきました。9月に入り、かき氷を食べて寒くないかな…と心配しておりましたが天候も良く、かき氷日和で皆様に喜んでいただけました。

コロナ禍ではありますが、今後も感染予防を徹底し、皆様に楽しんでいただける行事を考えていきたいと思っております。ご家族に参加していただける行事の実施が困難であり、引き続き面会制限もございませぬが皆様の協力とご理解に感謝申し上げます。



介護老人保健施設 あつべつ

新型コロナウイルス感染症対策を重点に、緊張感を持って業務に励んでいる日々ですが、ウィズコロナの考えのもと「あつべつ」では、新しい生活様式に合わせ活動を行っています。

栄和会祭りが見送りとなつたため、フロアごとにお祭りを開催し、昔懐かしいゲームや甘味を楽しんでいただきました。職員共に大盛り上がりで、たくさんの笑顔とふれあいが、「あつべつ」の活力につながりました。

また、地域活動として例年講座を行っている「健康サロンあらく」で、高齢者疑似体験と施設における感染症対策について、お話をさせていただきました。疑似体験では加齢による身体の動きを体感することで、高齢者にやさしい心や介助の手法、バリアフリー環境の大切さを、感染症対策では、予防法や発症時の対応などを知っていただく機会になりました。

今後も、「あつべつ」は地域包括ケアの拠点として、暮らしの支援と地域に根ざした活動を継続していきたいと考えております。



新型コロナウイルス感染症対策を重点に、緊張感を持って業務に励んでいる日々ですが、ウィズコロナの考えのもと「あつべつ」では、新しい生活様式に合わせ活動を行っています。

栄和会祭りが見送りとなつたため、フロアごとにお祭りを開催し、昔懐かしいゲームや甘味を楽しんでいただきました。職員共に大盛り上がりで、たくさんの笑顔とふれあいが、「あつべつ」の活力につながりました。

また、地域活動として例年講座を行っている「健康サロンあらく」で、高齢者疑似体験と施設における感染症対策について、お話をさせていただきました。疑似体験では加齢による身体の動きを体感することで、高齢者にやさしい心や介助の手法、バリアフリー環境の大切さを、感染症対策では、予防法や発症時の対応などを知っていただく機会になりました。

今後も、「あつべつ」は地域包括ケアの拠点として、暮らしの支援と地域に根ざした活動を継続していきたいと考えております。